

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業 評価シート

計画番号 94

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室(現生活安全課 防犯対策推進室)	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	警察、市町村と連携を図り、特定の罪種、あるいは特定の被害者層に的を絞った、実効性のある効果的な広報啓発活動を強力に実施する。また、社会問題化している万引きの対策として、県、県警、事業者等が連携しながら、万引きを発生させないための広報・啓発事業を実施する。さらに、安全安心まちづくり旬間における防犯パトロール隊出動式等の実施により広く県民の防犯意識の高揚を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	4,158	25年度	4,052	26年度	3,985
決算額(千円)	24年度	1,555	25年度	2,687	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

自動車盗被害防止ちらし100,000枚、空き巣及び自動車盗被害防止ちらし 200,000枚、「安全で安心なまちづくり旬間(10/11~10/20)」啓発ポスター 4,000枚、クリアファイル 3,500個、いかのおすし手さげ袋 1,000個 作成

(2)事業の成果

「安全で安心なまちづくり旬間」の啓発及び子ども用の啓発グッズ配布による啓発活動に継続的に取り組んだ。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

啓発が主体であり、その成果を把握することが困難である。継続して取り組んでいく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 94-2

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	(平成25年度から追加) ○電車内における痴漢対策強化期間を設定して駅頭等で防犯キャンペーンを実施する。 ○小・中学校、高等学校における防犯講話等において防犯意識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	24年度		25年度	0	26年度	0
決算額(千円)	24年度		25年度	0	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- キャンペーン実施結果 69回
- 防犯教育実施数 1,103回 223,376人

(2) 事業の成果

痴漢や、声かけ事案等に対する防犯意識の向上が図られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

継続して、各学校と連携した防犯教育を推進する。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業 評価シート

計画番号 95

事業名	自主防犯団体トップリーダー養成事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室(現生活安全課 防犯対策推進室)	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の犯罪抑止に大きな役割を担うようになってきた県民の自主防犯団体の活動を継続し、より発展させていくため、自主防犯活動の核となる団体を育成する。					
当初予算額(千円)	24年度	1,903	25年度	1,530	26年度	2,255
決算額(千円)	24年度	1,417	25年度	1,141	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

トップリーダー養成講座 3回、防犯ボランティア交流大会 1回、トップリーダー情報誌 2回発行

(2)事業の成果

地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアの支援を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

防犯ボランティアの高齢化。継続して実施していく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業 評価シート

計画番号 96

事業名	地域の防犯力アップ補助事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室(現生活安全課 防犯対策推進室)	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力アップに大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	1,175	25年度	1,175	26年度	1,400
決算額(千円)	24年度	1,091	25年度	1,167	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

16市町に対して、地域の防犯力アップ事業補助金を交付

(2) 事業の成果

地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアの支援を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

防犯ボランティアの高齢化。継続して実施していく予定である。

4 委員意見

--

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業 評価シート

計画番号 97

事業名	安全で安心なコミュニティ推進事業		
担当課・室・班名	生活・交通安全課 生活安全室(現生活安全課 防犯対策推進室)	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	「犯罪の防止に配慮した道路、公園、駐車場及び駐輪場の構造及び設備に関する指針」に基づき、犯罪の起こりにくいまちづくりを進めるため、道路、公園、駐車場、駐輪場について、専門家を招き、地元住民、市町村、警察等関係機関との合同防犯現地診断を実施する。					
当初予算額(千円)	24年度	97	25年度	444	26年度	472
決算額(千円)	24年度	86	25年度	88	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

5市で、合同防犯現地診断を実施。

(2) 事業の成果

2市において、小学校のPTA活動と連携して、合同防犯現地診断を実施し、保護者向けに啓発できた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

実施する市町村が拡大していないこと。継続して実施していく予定である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 98

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課 安全室	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域で子どもを見守る活動支援集会の開催。県警や防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。					
当初予算額(千円)	24年度	206	25年度	136	26年度	160
決算額(千円)	24年度	8	25年度	5	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

「平成25年度 地域で子どもを見守る活動支援集会」を東葛飾教育事務所、葛南教育事務所の2教育事務所管内で実施した。各集会では、学校関係者、防犯関係団体の方々、スクールガード等が参加し、2会場で合計約250名が参加した。

(2) 事業の成果

学校関係者や防犯関係団体の方々、スクールガード等を対象に「ちばっ子安全マップの実践」をはじめとする防犯知識や技術の伝達、地元警察署の方々による地域防犯の状況説明及びスクールガードリーダーの取り組みの報告等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに防犯知識や技術の伝達ができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

平成24年度に3教育事務所管内で、平成25年度に残りの2教育事務所管内で開催し、2年間で全県実施としたが、どの地域においても子どもたちが事件に巻き込まれている現状を鑑み、平成26年度は、事業の名称を「地域防犯研修会」と改め、年度内に5教育事務所全てにおいて開催することとした。

また、これまで防犯を目的とした「安全マップづくり」を中心に取組んできたが、現在の交通事故の状況や東日本大震災における被害の体験などから、それぞれの地域性を考慮した「交通安全マップづくり」「防災マップづくり」にも取組んでいきたいと考えている。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 98-2

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	(平成25年度から追加) ○「不審者情報マップ」による情報発信と同マップのメール投稿機能による不審者情報の収集を行う。					
当初予算額(千円)	24年度		25年度	0	26年度	0
決算額(千円)	24年度		25年度	0	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

「不審者情報マップ」における情報発信数 2,305件
メール投稿機能による通報件数 83件

(2) 事業の成果

声かけ事案等の発生状況を県民が閲覧することにより防犯意識の向上が図られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

継続して、情報発信とメール投稿機能による不審者情報の収集を推進する。

4 委員意見

--

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 99

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活課(現県民生活・文化課)子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。					
当初予算額(千円)	24年度	1,474	25年度	841	26年度	766
決算額(千円)	24年度	871	25年度	433	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店57件、書店54件、インターネットカフェ20件、カラオケボックス81件等、計214件の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。
 ・条例の規制事項の周知のため、啓発用リーフレット30,000部を作成した。
 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限について、一部の市町に移譲した。

(2) 事業の成果

立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗に対する千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、一部市町への立入調査に係る事務権限の移譲により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。
 また、地域における青少年健全育成の充実を図るため、立入調査に係る事務権限の市町村への移譲を進め、より効果的な実施を目指す。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業 評価シート

計画番号 100

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活課(現県民生活・文化課)子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害等の防止を図る。					
当初予算額(千円)	24年度	4,712	25年度	4,588	26年度	5,025
決算額(千円)	24年度	3,856	25年度	4,660	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

青少年の書き込み頻度の高いプロフィールサイト、ブログ、ネット掲示板等の監視(ネットパトロール)を実施した。

(2) 事業の成果

青少年の書き込み頻度の高いプロフィールサイト、ブログ、ネット掲示板等の監視(ネットパトロール)を実施し、結果と情報を教育委員会に通知し、問題のある書き込みについて削除を求める等、インターネットの安心利用について啓発を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

引き続き、青少年ネット被害防止対策(ネットパトロール)事業に取り組みながら、青少年や保護者、学校、教育関係者等への講演・啓発活動を行っていく。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 101

事業名	サイバー犯罪対策の推進		
担当課・室・班名	県警本部サイバー犯罪対策課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	社会環境の見直しと整備					
基本方策	子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県下の学校等教育機関を対象としたネット安全教室を開催し、インターネットを利用する上での規範意識の向上や、情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	24年度		25年度	333	26年度	308
決算額(千円)	24年度		25年度	333	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

平成25年度中、中学、高校等の教育機関を対象に555回、129,854人に対してネット安全教室を実施した。

(2) 事業の成果

インターネット利用上のモラルとマナーの向上に努めるなど、利用者に対して被害者にも加害者にもならないよう広報啓発を図ることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

サイバー犯罪は、年々、悪質・巧妙化し、新たな手口が次々に出現していることから、常に最新の情報を取り入れたネット安全教室を開催するとともに、サイバー犯罪の被害者にも加害者にもならないための広報啓発活動を継続して推進する必要がある。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン平成25年度事業評価シート

計画番号 102

事業名	暴走族総合対策の推進		
担当課・室・班名	県警本部 交通捜査課	問合せ先(電話番号)	201-0110(内5464)

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	暴走族等の取締り強化により、構成員の検挙、グループの解体により、少年を暴走族等への加入防止の措置を図る。また、既存の暴走族等に加入している少年への離脱支援活動を推進する。					
当初予算額(千円)	24年度	50	25年度	50	26年度	50
決算額(千円)	24年度	42	25年度	39	26年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>①暴走族による集団暴走の取締り 毎週末、県内全域において、集団暴走事案に対する警戒取締りを実施し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)等を適用した捜査を推進した結果、暴走族グループによる大規模集団暴走事件を解決した。(H24年3事件、検挙49人:H25年1事件、検挙25人)</p> <p>②広報啓発活動の推進 暴走族取締り強化期間における指導取締りを強化するとともに、暴走族防止排除ポスターを活用して、広報啓発活動を実施した。</p> <p>③暴走族相談員による離脱及び加入防止相談の実施。 暴走族に加入している少年及び保護者から、離脱及び加入に関する相談の他、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)で、検挙した少年の保護に対し、青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱相談に対応した。</p>

(2) 事業の成果

<p>①茂原市内の旧車會による大規模集団暴走に対し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)を適用し、同グループを検挙解体した。</p> <p>②暴走族グループ及び構成員は減少傾向にあるものの、県民に多大な危険と迷惑を及ぼす集団暴走に対する警戒、取締り強化により、県民の安全で安心できる交通環境づくりに成果があった。</p>

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>①平成25年の集団暴走行為での検挙者は、すべて少年であったことから少年による犯罪として顕著である</p> <p>②暴走族による指導取締りを強化して、検挙解体することにより少年を暴走族グループから離脱させることにより、青少年の健全育成を図るとともに、再発防止・加入阻止を推進していく。</p>
--

4 委員意見

<p> </p>
